



第80回国民スポーツ大会冬季大会 スピードスケート(少年男女) 結果

スピードスケート、少年男子・少年女子ともに予選敗退も、**全力を尽くす！！**

2/5(木)から2/8(日)にかけて、YSアリーナ八戸(八戸市)で行われているスピードスケート。YSアリーナ八戸は国内3例目の国際大会開催が可能な屋内400mスピードスケートリンクであり、令和元年に完成した素晴らしい会場での競技となった。福岡県内にはスピードスケートリンクがないため、本県の選手は県外への遠征を行い、多くの試合に出場するなど、強化に取り組んでいる。

【500m 結果】少年女子：新田 菜穂子 予選2組 5着 (49秒68) 敗退
 【1500m 結果】少年男子：森 瑛一朗 予選2組 5着 (2分09秒23) 敗退
 【1000m 結果】少年男子：森 瑛一朗 予選1組 6着 (1分19秒50) 敗退
 少年女子：新田 菜穂子 予選2組 4着 (1分37秒91) 敗退



YSアリーナ八戸

森 瑛一朗 選手(沖学園高校・2年)

ショートトラックが専門ですが、スピードスケートでインターハイに出場したため、そのまま国スポもスピードスケートにエントリーしました。1500mでは、スタートで気負いすぎていたのうまくいきませんでした。1000mも良い結果は出ませんでしたが、来年に向けて良い経験ができました。高校生まではスピードスケートで勝負したいと考えていて、来年の国スポは5000mと10000mに挑戦したいと思っているので、**試合に挑むメンタル面を鍛えていきたい**と思います！

新田 菜穂子 選手(沖学園高校・1年)

昨年に引き続き2回目の出場となりました。500mではスタートがうまくいかず、他の選手に着いていくことができませんでしたが、1000mではしっかりとスタートを決めることができました。**練習で長い距離を滑り、力を付けていきたいです！**

江田 裕信 監督(県立柳河特別支援学校(教))

福岡で強化する上では、スピードスケートリンクがないため練習環境を整えることはもちろん大事ですが、氷に乗る時間を増やしたくさん滑ることや、陸上のトレーニングも取り入れながら下半身の強化も行っています。選手たちは『負けん気』を持っているため、**内なる闘志を表に出して頑張ってもらいたい**です！



レース中の様子と、レース後観客席にお礼をする森選手



レース中の様子と、レース前に準備をする新田選手

県スポーツ協会派遣の戴ドクターから、コメントをいただきました！

国民スポーツ大会冬季大会に県スポーツ協会派遣の帯同ドクターとして初めて参加した戴 正恒(たい まさつね)ドクターから、今大会に帯同した感想と選手へのコメントをいただきました。

戴 正恒 ドクター(村上外科病院・整形外科+スポーツクリニック)

今回アイスホッケー競技に帯同し、『氷上の格闘技』という異名を持つ激しい接触があるスポーツだと実感しました。怪我に関してできる対応はさせてもらいましたが、痛みがある中でのプレーになる選手もいると思います。選手は、大会期間中のみならず終わったあとも含めて、**どのようにケアしていったらよいかを考えることが大切**であり、我々もできる限りのサポートを引き続きしていきたいと思っています。

本国スポも含めて、今後もスポーツに携わる活動は続けていきたいと考えています！

※なお、今大会には長島ドクターと中田トレーナーにもご帯同いただきました。



戴ドクター(中央)

中田トレーナー(左)

2/6(金)終了時点での本県の成績 **男女総合7位 女子総合5位**

アイスホッケー成年男子にエールを！ **FIGHT! TEAM 福岡！！**



県スポーツ協会
公式 Instagram

@SPORTS_FUKUOKA